



SDGsは聞いたことあるけど、ESDってなに？

宇部市は2018年6月に、いち早くSDGs未来都市に選ばれたこともあり、市民の間でも比較的知られるようになってきました。しかし、ESDとなるとほとんどの人が、それ何？といった感じです。SDGsは持続可能な世界にしていくための目標であり、最近の話題では温暖化ガスの排出量を2030年までに2013年のそれから46%削減するというのが国の具体的な目標です。そのために自分たちはどう行動すべきでしょうか。それぞれ自分事として考え実行して行かなくてはなりません。

SDGsは国際的に17のゴールと全部で169のターゲット、さらに232指標が定められています。これらのうちかなりの部分は不平等をなくし、世界中のすべての人々が文化的、健康的な生活ができる事に関連した内容が多いです。また温暖化関係ではゴール7にはターゲットは4つしかありません。本質的なところは再生可能エネルギーの割合についての指標です。ゴール13はよく見ると気象災害への対応や減災が主な内容になっています。すべての項目は互いに影響し合っていますので、温暖化防止を例にとっても、2050年に温暖化ガスの排出が実質ゼロの目標の達成は簡単な事ではないと思われます。このような人類史上未だかつてない難問に立ち向かい、解決し、それぞれ個性を活かして、たくましく生きていける人材育成が求められます。

新任スタッフの抱負

まちなか環境学習館 村上ひとみ

この3月末に山口大学工学部を定年退職し、4月からまちなか環境学習館のスタッフに加わりました。

私は道産子の防災研究者、1998年に札幌市立高専から山口大学に赴任しました。環境問題とのかかわりでは、宇部に来て通勤や吉田キャンパスへの移動にマイカーを頼り、環境家計簿から車の負荷に気づき、自転車通勤を始めたこと、宇部市地球温暖化対策ネットワークで自転車促進に関わったことがあります。近年はバス通勤で沿線を眺め、バス停まで歩くことで歩数を増やす健康効果を感じてきました。

2010年にはうべ交通まちづくり市民会議を立ち上げ、主に、自転車レーンの整備要望、高校生との自転車通学路点検など取り組んでいます。宇部市ではこの春、新しい生活様式の補助金を活用した、自転車ナビマーク（青い矢羽根）路線（5.3km）が伸びています。

ESDうべ推進協議会

それがESDであるということができます

2018年4月に発足したESDうべ推進協議会には宇部市の環境政策課、教育委員会学校教育課・コミュニティースクール推進課を始め、各種環境関連団体、高専、高校等の参画団体があります。皆さまに、ESDの重要性を理解していただき、宇部市がESD先進都市として、全国に発信できるようになることを期待したいと思います。

地球温暖化対策に関するSDGsのゴールとターゲット

(7)エネルギー



7.2 2030年までに、世界の再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大

(日本政府は46%を提案か)

7.3 2030年までに、世界のエネルギー効率を倍増

(13)気候変動



13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する備えや適応能力を強化する。

その他、12.8に持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにするというターゲットがある。

退職を機に宇部市立図書館近くにアパートを借り、図書や研究資料150箱の段ボールを運び込んだところです。中心市街地の琴芝駅～真締川～市役所・郵便局・トキスマ～環境学習館～宇部新川駅～山大医学部なども徒歩圏になり、琴芝に車やバスや電車で出かけるのも新たな楽しみ発見の日々です。

今後はエコ交通の推進、既存住宅の活用など、作戦を模索しながら市民仲間の輪を拡げ、情報発信していきたいと思います。環境学習や野外活動でお会いする際には、ぜひ声をかけてください。



県立宇部工業高校での自転車通学路点検WS



県道・慶進高前自転車ナビマーク

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

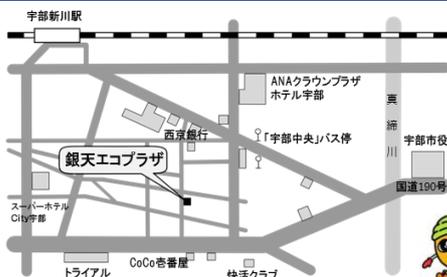
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週土・日曜日、祝日、年末年始



Home Page



facebook



twitter

指定管理者 NPO 法人うべ環境コミュニティ

近況報告

宇部環境国際協力協会

(UBEアイカ) 理事長 松田 博



宇部環境国際協力協会（宇部アイカ）は設立1998年以來、「宇部方式」の理念を伝え、開発途上国の環境改善につなげるよう、研修受入れや専門家の派遣等の活動を行ってきました。研修員の受入れは、都市計画、環境・廃棄物処理、国土保全、上下水道等に従事し、将来を嘱望されている中央政府や地方政府の職員、研究者、NGO職員など60カ国769名にも上ります。専門家の派遣は5カ国6地域延46名です。

昨年度は予定をしていたJICA青年研修事業（インドネシア11名）が新型コロナウイルス対応のため延期となりましたが、JICA草の根技術協力事業を6年間実施したインドネシア ブンカリス県において、豊かな志を持つ若いメンバーによってNGO “SEMESTA”が設立され、宇部アイカに協働での活動について打診がありました。これに応え、この3月宇部フロンティア短期大学部伊藤教授と宇部市の職員2名を講師としてSEMESTAが主催となり、「環境保全のための人々の役割と連携」をテーマに2度のオンラインセミナーが開催されました。参加者はブンカリス県職員、大学関係者・生徒、NGO関係者などで1回目zoom 100名、

YouTube 50名、2回目zoom 190名、YouTube 150名となり、熱心な質疑ではインドネシアの若者の熱気を感じました。このSEMESTAは先述した草の根技術協力事業において中心的役割を担ってこられたDr. Rafianiさんの呼びかけにより組織された若者の能力開発に焦点を当てた非営利団体で、教育、健康、環境という3つの主要な分野に関心を持っています。

2021年度は、これまでの国際環境協力に加えて、他環境団体との連携や、現地NGOとの協働、オンラインでの事業実施など、多様な“Build back better”（よりよい活動）により、今後も、各方面とより一層協力を深め環境問題に取り組んでいきたいと思えます。

5月28日に宇部アイカの事務所は宇部市まちなか環境学習館へ移転します。お気軽にお立ち寄り下さい。



今年度の環境学習館業務委託事業では、ポータルサイトうべっくるの運営とESDの普及促進を二本柱に進める予定です。については企画段階から関心のある方に加わっていただく企画会議の体制を整えたいと思います。さしずめ、事業化企画部会、広報企画部会、ESD研修・サロン企画部会を立ち上げます。ご興味ある方は、平日9時～17時まで0836-39-8110、または090-5268-5971までお問い合わせください。

中川河口トンボ生息代替地周辺の植生と整備作業の意義について考えること

うべ環境コミュニティー 浮田正夫

今年も3月と4月に自然保護協会主催の中川河口ヒヌマイトンボ生息代替地の草刈り作業に参加しました。この周辺は色々な植物の種が鳥や洪水によって運ばれてくるので、植生も多様です。

いつも思うのは、整備活動の基本方針がはっきりしないことです。①観察経路の確保、②外来種の除去、③ヒヌマイトンボの生息環境としてヨシや周りの草の管理はどうしたらいい。昆虫や鳥類などにとって、草花から樹木に至るまで、様々な植物はそれぞれ生態系の中でそれなりの役割を果たしているでしょうから、難しい問題です。結局一般的には①を第一に考えることになりそうです。

印象に残る局物の名前を一部挙げると、ハマナデシコ、タカサゴフヨウ、ヨシ、ヒメガマ、オオキンケイギク、ノイバラ、ハマボウ、ピラカンサ、ハゼノキ、キョウチクトウ、トベラ、カラスザンショウなどなどとても数え切れません。季節により印象も違います。

流域から流れ着くゴミが多いことに注目すれば、とにかく生き物や環境によくないプラスチックごみや中身の入ったビン類など、ゴミをまず取り除くことが大事ということになり、参加者がゴミが集めやすいよう

に、少々ヨシを伐採しても許されるように感じます。ノイバラなどのトゲでひっかき傷を負ったり、切ったヨシの切れ端で目をついたりしないような配慮も必要です。切り払ったヨシも、小さめにカットしてその場に置いておけば、やがて分解して海の栄養にもなるように思います。

代替地は人工的な環境として整備されたので、そもそも創られたヨシ原湿地そのものの水量、塩分濃度の管理についても、もっと抜本的な議論が必要です。



右：
ヒヌマイトンボ
生息代替地

左から
ハマボウ
チョウセンサガオ
ハマナデシコ

